

憲法公布 70 年「憲法守れ!」「戦争法廃止!」 全国で集会・講演会・デモ…多彩に

憲法が公布されて70年にあたる3日、全国各地で「憲法を守れ!」「戦争法廃止!」等の訴えとともに、「南スーダンに自衛隊を送るな」のスローガンを掲げた集会やデモ、街頭宣伝、講演会などが取り組まれました。

東京 「憲法公布 70 年 秋の憲法集会」を開催

憲法会議も参加する「解釈で憲法9条を壊すな! 実行委員会」は3日、水道橋近くの在日本韓国YMCAアジア青少年センターで「憲法公布70年 秋の憲法集会」を開催しました。395人が参加し、会場満杯となりました。「秋の憲法集会」は同実行委員会の初めての取り組みです。

プレ企画の街中芝居「どうなるの? 日本国憲法」の後、主催者あいさつした高田健さんは「安倍政権の目的は憲法9条を変えることです。野党4党と市民で安倍内閣を倒そう」と呼びかけました。

続いて、沖縄の高江のたたかいに連帯しようと、「高江一森が泣いている」DVDの一部分の上映が行われました。

メディアが注目のもと2人が講演。千葉大学教授・中東問題研究者の栗田禎子氏が「混迷する南スーダン情勢と自衛隊の派兵」とのテーマで講演。南スーダンPKOに新任務付与の自衛隊を派遣するのは、安倍政権が憲法9条破壊を政治的目的としているからだ指摘し、「1発でも海外で武器使用した実績ができれば、軍隊に協力しようという社会や経済が変わってしまう。今が天下分け目だ」と話しました。

東京大学教授・憲法学の石川健治氏は、「立憲主義の破壊と『戦後』の終わり」とのテーマで講演。70年間立憲主義が維持できているのは、平和主義を守る国民にある」と強調し、「憲法が風通しのよい社会をもたらしてくれた。それは憲法が『個』を大事にする仕組みをつくってくれたからだ。戦後、我々が獲得したのは個として生きる自由だ」と語りました。

集会には民進党、共産党、社民党、参院会派・沖縄の風からメッセージが寄せられ、会場で紹介されました。志位和夫日本共産党委員長のメッセージは「市民の皆さんの運動と力を合わせ、市民と野党の共闘の流れをさらに強く大きく発展させるため奮闘する」としています。



北海道 約1000人が参加し「これまでもこれからも 私たちは戦わない」集会開催

札幌市の大通公園では3日、北海道弁護士連合会の主催で、憲法違反との指摘が続く安保法の廃止を求める集会「これまでもこれからも 私たちは戦わない」が開かれ、弁護士や労組・団体などから約1000人が参加しました。

太田賢二同弁護士会理事長は「これからは市民とともに安保法制廃止のためがんばって行く」と決意を語りました。山口二郎・法政大教授は安保法制について「憲法無視の政治の暴走



を見過ごしてはいけない。法の運用に私たちが目を光らせ、声をあげることがこれからも必要だ。憲法の理念を守ると同じ思いを持つ人たちと手を携えて、日本を覆う安倍政治という暗雲を払うために力を尽そう」と呼びかけました。また、千歳市の自衛隊員の息子を持つ母親が海外派兵反対の思いを語りました。

集会最後に「NO! WAR」「YES! 憲法」のボードを掲げて「安保法制はいらない」「自衛官を戦地に送るな」とアピールしました。そして、参加者は集会後、市内をデモ行進しました。

参加した北海道上川郡鷹栖町の大学4年生、村中千広さん(24)は「安保法には友人の自衛隊員も危機感を持っている。政府の思い通りに憲法を変えることには絶対反対」と話しました。また、デモ初参加の旭川市の木村香奈さん(22)は「自衛隊員の友達がいる。隊員が派兵されるのは心配。反対の声を広げて派兵をとめたい」と話しました。

大阪 九条の会の小森陽一事務局長の講演会に 800人が参加

大阪市で3日、「九条の会・おおさか」が、九条の会の事務局長の小森陽一・東京大教授の講演会を開催しました。第2会場もいっぱいの800人が参加しました。

小森氏は、『九条の会』新しいステップ」と題して講演しました。

安倍政権の動きに危機感を表し、「主権者として憲法を掲げて、憲法違反の戦争法は使わせない。戦争法に基づく任務で自衛隊が海外で殺し殺される状況に入らせてはいけないということで日々対決しているのが今のこの国の憲法をめぐる状況だ」と指摘。そして、「自衛隊が海外で殺し、殺されるような活動は絶対にさせない。憲法を変えさせてはいけないという一致点を草の根でつくるのが最重要課題だ」と呼びかけました。

「九条の会・おおさか」は新しいステップにふさわしい体制として、26人の新しい呼びかけ人が紹介され、うち9人が講演会に参加、決意を表明しました。九条の会・おおさかの吉田栄司事務局長は、「改憲を絶対止めるために新しい体制で知恵を出し合って進めていきます。ともに頑張りましょう」と呼びかけました。

参加した大阪府四條畷市の会社員岡本亮介さん(27)は「改憲されたら若者が将来戦争に駆り出される可能性がある。9条は守らないといけない」と話しました。

京都 2100人が集い、その後のデモで観光客でにぎわう繁華街でアピール

憲法9条京都の会と京都96条の会が共催して、3日、円山野外音楽堂で集会を開催し、2100人が参加しました。

元京都弁護士会会長の出口治男弁護士が講演。出口氏は「憲法9条は民衆による戦争の直接体験から生まれた反戦、不戦の意識に支えられてきた。『押しつけ』という主張があるが、占領軍が引き揚げた時に憲法返上の声も出なかった」と強調。70年の民衆の意思を受け継ぎ、戦争法廃止や憲法改悪阻止のたたかいを呼びかけました。また、古今亭菊千代さんが落語を披露しました。

集会には、共産、自由、社民、新社会、緑の各党の代表が参加、来賓あいさつし、民進党はメッセージを寄せました。穀田恵二日本共産党衆院議員は「新潟知事選は、本気の共闘。大義が勝利の土台にあることを見事に示した。国会での共同、政策の共同で、総選挙での新たな共闘の躍進を勝ち取りたい」と訴えました。参加者は集会後、京都市役所前までデモ行進を行い、「戦争法の発動やめよ」「武力で平和はつくれぬ」「自衛隊を戦地に送るな」「憲法を守れ」などと唱和し、観光客でにぎわう四条通、河原町通など繁華街で盛んにアピールしました。

兵庫 憲法公布70年を記念する「神戸憲法集会」約600人の参加

憲法公布70年を記念する「神戸憲法集会」(実行委員会主催)が3日、神戸市中央区の市勤労会館で開催され、約600人が参加しました。

集会では渡辺治氏(一橋大名誉教授・憲法学)が講演しました。渡辺氏は、改憲に必要な国民投票に触れ「安倍首相は、(失敗が許されないため)圧倒的多数が賛成する状況にないと実施できな





い」と指摘しました。そして特に9条改正については、南スーダンの自衛隊派遣など安保関連法（戦争法）を具体化する動きをあげ、「われわれが反対の大きな声を上げ、争点にしている限り、改憲の動きは止められる」と訴えました。参加者は大きな拍手で応えました。

福岡県弁護士会主催による憲法公布70周年記念集会とパレード 参加者400人

福岡県弁護士会主催による憲法公布70周年記念集会とパレードが3日、戦争させない福岡県民委員会、九条の会福岡連絡会の協力で開催され、400人が参加しました。

集会では、AKB48のメンバーだった内山奈月さんとの共著『憲法主義』で知られる九州大学の南野森教授が講演しました。南野氏は、安倍政権が集団的自衛権の安保法制を強行し、立憲主義を踏みにじったことについて、「憲法で政治権力を縛るといえるのはどうすればいいのか。国民が権力を監視する、憲法に従えと政治家に言い続けていくことが必要条件です」と強調しました。

パレードでは、参加者はメッセージカードを掲げ「日本が誇る 平和憲法」「立憲主義を守れ」「民主主義を守れ」等のコールでアピールしながら中央区の繁華街をパレードしました。

3歳と5歳の子どもを連れて加わった田籠民弁護士（42）は、「憲法が平和の礎になっているだけでなく日常的に私たちが生きていくための人権を守る力になっていることを弁護士の仕事を通じて感じています。特にこの子たちが大きくなった時、ゆっくりと眠りにつける未来だろうかと不安になります。今できることをしなければ」と話しました。

大集会STOP！安倍政権による教育介入・憲法改悪 5日

全日本教職員組合、教組共闘連絡会、子ども全国センター主催の「子どもたち、若者を戦場にするな！憲法改悪阻止 国民の思想・信条の自由、言論・表現の自由 子どもと教育を守る11・5大集会」が5日、日比谷野外音楽堂で開催されました。集会には全教・教組共闘の仲間と、賛同団体の仲間、市民ら合わせて1800人が全国から集いました。

主催者あいさつで、全教の蟹沢委員長は「今、憲法が危ない、平和が危ない、個人の尊厳が危険にさらされているとの思いで、本集会を呼びかけた。教え子を再び戦場に送らないために、隣の同僚に語り掛けるなど、共同を広げよう」と呼びかけました。

「学者の会」「ママの会」の連帯あいさつの後、日本共産党の小池書記局長が連帯あいさつで、TPPをめぐる国会情勢を報告し、全国2000万署名を全教や日教組などで全国の教職員の54%を集約したと話し、憲法と教育の自由を守り発展させるために奮闘しようと呼びかけました。

そして、小畑全教書記長の基調報告の後、自由法曹団の加藤健次幹事長が「言いたいことを自由に言える 戦争のない社会を子どもたちに」とのテーマで講演しました。

その後、各地の教育への介入に対するたたかいなどの特別報告、リレートークが行われました。集会後、東京駅まで9梯団に分かれて銀座パレードを行い、市民に「教育への不当な加入やめよ」などと訴えました。

衆院憲法審査会が始動 傍聴希望者の受付中

衆議院憲法審査会が、国民の意思に反して11月10日（木）に開催されます。総がかり行動実行委員会が審査会の傍聴を呼びかけています。傍聴希望者は、11月9日（水）午後4時30分までに憲法会議に、氏名、年齢、職業を明記してお知らせください。

当日10日（木）は、衆議院議員面会所に午前8時40分集合です。

その後、衆議院憲法審査会は17日（木）に行われます。また参議院憲法審査会も16日（水）13時から開かれます。